

(3) 諏訪地域 ～地の利を活かし 人を育む 豊かで活力あふれる 諏訪の農業・農村～

重点戦略1：高品質・安定生産による信州諏訪ブランド構築 (ハヶ岳西麓地域)

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
セルリーの出荷数量	7,759t	9,000t	9,110t	9,000t
トルコギキョウの出荷本数	2,186 千本	2,800 千本	2,666 千本	2,250 千本
農業用水の安定供給が確保される農地面積 (累計)	220ha	380ha	380ha	830ha

<施策の取組状況>

○ セルリー等の夏期高温対策の推進

- 耐暑性品種等の試験ほ場を設置（5か所）し、品質や黄変葉等調査・検討を行いました。また、生産者大会において成績を発表し、今後の品種育成等の方向性について検討を行いました（1月）。
- 高標高地ほ場の確保のため、JAや関係市村による検討会議や県農政部との打合せ等を実施し、課題の整理や今後の取組の検討を行いました（現地検討会4回、県との打ち合わせ2回）。

○ トルコギキョウの生産拡大とキク産地の再構築

- トルコギキョウの生産拡大のため、大苗定植実証ほ場を設置し、生育や品質、収量調査を行いました（調査ほ場1か所）。この結果、開花が前進し、草丈は確保できましたが、ボリュームが低下して大苗定植のメリットが少ないことがわかりました。
- Iターン就農者を中心とした栽培者を確保してキク産地を再構築するため、キク栽培事例集を作成し、キク青年部の学習会で活用しました（事例集の作成40部、配布7月～）。

○ そばの生産安定と新品種導入推進

- そばの生産安定と品質向上のため、標高別の播種時期の確認、生育・開花盛期、収穫調査等を行いました。また、8月から9月末まで刈取り適期と技術情報を毎週提供しました（情報提供5回）。

○ 「おいしい信州ふーど(風土)」としてPR・発信強化

- 銀座NAGANOにおいて地域の農産物のPR活動を行うとともに、地元の特産農産物を掲載したPR冊子「おいしい諏訪ふーど」を研修会やイベントの時に配布しました（銀座NAGANO出店2回、PR冊子配布2,000部、配布回数13回）。

○ 農業水利施設等の計画的な整備・更新

- 県営かんがい排水事業により、「一ノ瀬汐」が事業完了し、「滝之湯堰」の一部が完了しました。（総延長：一ノ瀬汐1,064m、滝之湯堰721m）

<今後の展開方向>

- 選抜された耐暑性の高い優良系統のセルリーについて、試験ほ場を設置し調査及び検討会を開催します。
- トルコギキョウの9月出荷に向けた種苗の薬剤処理試験を実施します。
- キクの品質向上と生産拡大のために新規就農者を中心に白さび病対策の指導を行います。
- 農業用水の安定的な確保のため、「滝之湯堰」の改修を進めます。



【セルリーの試験ほ場】

重点戦略2：効率的な水稻生産と地域特産品目の振興 (諏訪湖周辺地域)

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
稲作大規模経営体への農地利用集積面積	147ha	170ha	188ha	195ha
遊休農地の再生・活用面積（累計）	16ha	35ha	29.5ha	50ha

<施策の取組状況>

- **農地中間管理事業等を活用した水田の利用集積による稲作経営の効率化と適期収穫による良質米生産の推進**
 - 市町村担当者会議や各種会議、イベントにおいて農地中間管理事業のPR活動を行うとともに、市町村を個別に訪問し、事業の推進を行いました（周知活動3回、市町村意見交換延べ12回）。
 - 稲作経営の効率化のため、機械導入に当たって省力化・効率化への指導を行いました（指導会3回）。
- **遊休ハウスを活用した施設園芸の新規就農者確保**
 - JAとの打ち合わせを行うとともに、就農連絡会で情報提供を行いました（3回）。
- **流通・販売・利用の拡大による地域特産物の生産拡大**
 - 上野大根、後山地大根の生産拡大・品質向上のため、収穫前調査の実施、指導会の開催等を行いました（調査1回、指導会2回）。
- **地域特産物の導入による遊休農地の解消**
 - 遊休農地の解消、発生防止のため、岡谷市でブルーベリーを60本新植したほか農園整備の計画について打ち合わせを行いました（1回）。また、諏訪市後山でそばを4ha作付しました。
- **りんご新しい化栽培、地域オリジナル品種の拡大**
 - 良質なりんごフェザー苗の育成のため、ほ場巡回指導等を行いました（巡回指導3回）。これにより、1年生、2年生とも各150本の養成ができ、28年春に150本を定植する予定です。
- **農地や水の保全及び効率的な利用の推進**
 - 諏訪平において、諏訪市・土地改良区と用水管理の省力化のための打ち合わせ会議を開催しました（1回）。



【後山でのそば栽培】

<今後の展開方向>

- 良質米生産促進のため、DVI（発育指数）の活用による適期収穫を徹底します。
- りんご農家から要望の多い良質なフェザー苗の育成を指導します。
- 用水管理の省力化のために、諏訪平における今後の対応策を検討します。

重点戦略3：人・農地プランの担い手経営体を主体とした担い手の確保・育成

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
40歳未満の新規就農者数（単年度）	10人	19人	13人	19人
人・農地プランに位置づけられた担い手経営体数	0経営体	340経営体	548経営体	230経営体

<施策の取組状況>

- **人・農地プランの実行及び関連支援施策の推進**
 - 各市町村との意見交換会を実施し、実効性のあるプランへの見直しの支援を行いました（支援チーム事前打ち合わせ6回、市町村との意見交換会11回）。
 - 青年就農給付金や経営体育成支援事業を活用して、中心的経営体の支援を行いました（給付金活用4市町村26経営体、経営体育成支援1経営体）。
- **相談活動、里親研修制度等活用した新規就農者の確保**
 - 就農支援連絡会を開催し、新規就農者の受け入れ体制づくりを行ったほか、新・農業人フェアに参加し、就農相談を行いました（連絡会3回、フェア3回）。
 - 里親研修生等に対して研修・就農準備の打合せを行うとともに、農業基礎講座を開催しました。（対象者4名、講座2回）。
- **各種セミナー、巡回指導による資質の向上**
 - 新規就農者を対象としたフォローアップセミナーを開催し、新規就農者の資質向上を支援しました。（10回・18人）

- 円滑な経営継承支援の仕組みづくり支援
 - 果樹栽培者へのアンケートを実施し、今後の地域の果樹振興方針を策定しました（対象農家 115 戸）。
- 集落営農組織の園芸作物導入支援
 - 集落営農組織の経営安定のため、リンドウの導入支援と巡回、研修会を実施しました（導入面積 10 a、研修会 1 回）。
- 企業的経営志向への誘導とセミナーによる資質の向上
 - 企業的経営体を目指す各々の農家の課題を明確にし、個別の課題解決への指導・支援を行いました（対象農家 6 件）。
 - 経営安定のための冬季品目の導入による年間雇用の実現等の個別支援を行いました（対象者 2 人）。
- 女性の農業経営や地域活動への参画促進
 - 若い女性農業者を対象にライフプラン設計講座等を実施し、資質向上、仲間づくりを支援しました（講座開催 4 回、参加人数延べ 22 人）。
 - 家族経営協定の締結を進めるため、研修会等で意識の醸成を図りました（1 回）。

<今後の展開方向>

- より実効性の高い人・農地プランへの見直しと実践支援を行います。
- 就農支援連絡会議の開催による関係機関との情報共有及び各種セミナーの開催等により新規就農者の確保・育成を図ります。
- 企業的経営を目指す者に対し経営分析能力の向上を支援します。
- 女性の農業経営参画等を進めるためのセミナーの開催及び家族経営協定の締結に向けた支援を行います。



【就農相談会】

重点戦略 4：諏訪湖と共生する環境にやさしい農業の実践

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
エコファーマー累積新規認定数	1,030 人	1,170 人	1,081 人	1,300 人
信州の環境にやさしい農産物認証面積	68ha	93ha	101ha	110ha
環境保全型農業直接支援対策面積	0ha	15ha	15.2ha	42ha

<施策の取組状況>

- エコファーマー認定制度への組織や農作物直売所単位での取組の推進
 - 直売所出荷者を対象として環境研修会への参加を呼び掛け、エコファーマーの認定を進めました（研修会 3 回、新規認定 9 人）。
- 信州の環境にやさしい農産物認証への取組支援
 - 50%削減技術実証ほを昨年までの水稻とブロッコリーに加えて新たにりんごでも設置し、生育、品質調査、現地検討会、結果報告会等を開催しました（実証ほ設置 4 か所、現地検討会等 3 回、成績検討会 3 回）。
- 環境保全型農業直接支援対策への取組支援
 - 制度改正に伴う説明会への参加出席を促進するとともに、市町村担当者に対する手続きの指導など、認定の支援を行いました（説明会 2 回、取組組織数 3）。
 - 信州の環境にやさしい農産物認証制度への申請拡大のため、環境直払い実施者等に対して PR 資料の配布及び説明を行いました（資料配布等 2 回）。
- 花きオリジナル肥料を用いた減肥の取組の拡大
 - 環境にやさしい肥料の利用拡大を図るため、実証ほ場を設置し、土壌や品質等の調査を行い、農家説明会を開催し、肥料の溶出シミュレーションや成績を説明しました（実証ほ設置 2 か所、説明会 1 回）。
 - より効率の高いセルリー専用肥料を開発するため、JA や資材供給業者との打ち合わせを行いました（1 回）。

○ GAPの導入支援

- 直売所指導者や出荷者を対象に研修会等を開催し、GAPの導入を推進しました（対象直売所2か所、研修会4回）。

＜今後の展開方向＞

- 直売所等を対象に研修会等を実施、エコファーマーの認定促進やGAPの取組拡大を進めます
- 3品目の削減実証ほを引き続き設置し、取組の拡大を図ります。
- 環境直払制度及び認証の拡大のため、説明会等を開催します。
- 実証ほ場を設置して環境にやさしい肥料の利用拡大と開発を進めます。



【りんごの実証ほ場での指導】

重点戦略5：他産業との連携等による付加価値向上と地産地消による農業理解の醸成

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	0件	7件	7件	5件
農産物直売所の販売額	17億円	18億円	17億円	19億円

＜施策の取組状況＞

○ 他産業との連携や加工による付加価値向上、販路開拓への支援

- 認定事業者に対して個別相談を行ったほか、事業化検討会や加工品評価検討会を開催しました。また、新規の相談にも応じました（個別相談15回、検討会2回、個別巡回7件、新規相談5件）。
- 地産地消マッチング交流会やセミナーの開催、商談会への出展促進により販路開拓を推進しました（新規契約取引8件）。

○ 学校給食への地元農産物の供給拡大

- 市町村栄養士との研修会の開催や学校給食への伝統野菜の供給支援、保育所への情報発信を行いました（研修会1回、学校給食への供給13校、情報提供3回）。

○ 農作業体験や対面販売など消費者、観光客との交流による顔の見える関係づくり支援

- 「上諏訪温泉朝市」の活性化のため、運営等の支援を行いました（朝市16回、来場者延べ5,984人）。

○ 地域特産品や新品目開発による農産物直売所の魅力向上支援

- 直売所の魅力向上と売上額の増加を図るため、リスク管理に関する個別研修会の開催、指導者・生産者研修会等を開催しました（研修会6回）。

○ 「おいしい信州ふーど(風土)」を始めとする地元農産物のPR、地産地消による消費者の理解増進・共感醸成

- 特産である寒天の消費拡大のため、講演会や研修会を開催しました（講演会1回、研修会2回）。
- 地元農産物を広く紹介するための冊子を作成しました（4,000部）。

＜今後の展開方向＞

- 商談会への参加を誘導して契約取引の推進を図ります。
- 学校給食での地元農産物利用拡大のために研修会の開催や、情報提供を行います。
- 地元農産物の魅力の再認識のために情報発信を行います。



【おいしい諏訪ふーどPR冊子】

重点戦略6：活力に満ち、こころ安らぐ美しい農村づくり

目標指標	H22 基準年	H27		H29 目標年
		計画	実績	
集落等が地域ぐるみで取り組む保全活動面積	2,012ha	2,516ha	2,527ha	2,536ha
農業用水を活用した小水力発電か所数(累計)	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所
野生鳥獣による農作物被害額	6,067万円	4,500万円	4,356万円	4,200万円
農地等の安全が確保された面積（累計）	9ha	15ha	15ha	15ha

<施策の取組状況>

- **美しい農村の維持・創造のための多面的機能支払、中山間地域農業直接支払等による共同活動の推進**
 - 農業・農村の多面的機能の維持・増進を図るため、取組組織や市町村を対象に研修会を開催しました（現地研修2回、事務研修2回）。
 - 中山間地直払いについては、制度の切り替えに伴い、市町村担当者との意見交換を行うとともに、超急傾斜地加算の活用を促進するため、実態調査を実施しました（検討会1回、実態調査1回）。
- **景観や生態系に配慮した水路等の施設整備**
 - 自然石を使用して「滝之湯堰」を整備しました（27年度整備延長149m）。
- **自然エネルギーや農村資源の利活用の促進**
 - 小水力発電の導入を検討している事業者からの相談に対応しました（相談件数9社）。
- **侵入防止柵設置や広域的な鳥獣被害防止対策の推進**
 - 広域的な被害防止のための侵入防止柵の設置やくくり罟の導入を支援しました（侵入防止柵設置7,008m、くくり罟の導入639基）
- **老朽化した水路やため池の決壊等の被害を防止する施設の整備**
 - 県営農村地域防災減災事業の実施により、「大婦奈ため池」の改修が終了しました。

<今後の展開方向>

- 中山間地直払いの超急傾斜地加算への取り組みを誘導します。
- 新たな小水力発電施設設置に向けて相談会等を開催します。
- 野生鳥獣害防止のための広域的侵入防止柵の設置、くくり罟等の導入を促進します。
- 「中新田北ため池」「中新田南ため池」の改修に着手します。



【完成した「大婦奈ため池」】